

## 第 22 回介護福祉士（筆記試験：午前問題）

### 国家試験 問題と正答（やまだ塾）

（2010 年 2 月 7 日やまだ塾 HP 掲載）

（2010 年 3 月 31 日に「正答」を掲載）

＜やまだ塾解答速報と正答との差異＞

■全問、解答速報と正答は一致していた。

科 目	問 題 文	正 答
社会福祉 概論	<p>問題 1 平成 12 年の「社会福祉事業法等改正」に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 第一種社会福祉事業の経営主体から市町村が除外された。</p> <p>2 第一種社会福祉事業の経営主体になれるものとして、株式会社が追加された。</p> <p>3 身体障害者福祉法や知的障害者福祉法に基づく福祉サービスの利用は、措置制度から「支援費制度」へ移行することとなった。</p> <p>4 社会福祉法人設立に当たっての施設の規模や資産の要件が引き上げられた。</p> <p>5 養護老人ホームの利用が、市町村による措置から施設と利用者の直接契約になった。</p> <p>（注）「社会福祉事業法等改正」とは、「社会福祉増進のための社会福祉事業法等の一部を改正する等の法律」のことである。</p>	3
	<p>問題 2 生活保護と介護に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 生活保護を受給中の介護保険第 1 号被保険者は、介護保険料を納付しなくてもよい。</p> <p>2 40 歳以上 65 歳未満の生活保護受給者で医療保険に加入していない者は、介護保険に加入することが義務づけられている。</p> <p>3 生活保護を受給中の障害者は、必要とする介護の状況に応じて、生活保護から介護費用の支給を受けることができる。</p> <p>4 介護保険施設の入居者は、生活保護が適用されない。</p> <p>5 生活保護時給者の居宅介護支援は、福祉事務所の社会福祉主事が行う。</p>	3
	<p>問題 3 社会福祉法人に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 法人は収益事業を行なうことは認められない。</p> <p>2 法人設立の認可があれば、登記がなくても法人は成立する。</p> <p>3 理事は、その法人の職員を兼務することができる。</p>	3

<p>4 法人は、必要に応じて監事を置くことができる。</p> <p>5 入所施設を経営する法人は、解散することはできない。</p>																			
<p>問題 4 社会福祉におけるサービス等の提供方法に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 介護保険制度における保険給付では、福祉用具の貸与や購入費の支給は行われていない。</p> <p>2 生活保護における生活扶助は、原則として金銭給付である。</p> <p>3 概算払いとは、利用者が費用をいったん金額立て替え、後に利用者負担分を除いた分の払い戻しを受ける方式である。</p> <p>4 償還払いとは、費用の見込額を利用者に交付し、サービス利用後に清算する方式である。</p> <p>5 契約制度の代表的な例として、児童福祉法による児童自立支援施設入所がある。</p>	2																		
<p>問題 5 社会保障給付費に関する次の記述の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>平成 12 年度と平成 18 年度の我が国の制度別社会保障給付費の構成比を比較すると、【 A 】は平成 12 年度 50.1%、平成 18 年度 51.4%となっており、最も高い割合で推移している。次いで高い割合を示している【 B 】も 18.7%から 18.6%とほぼ同水準で推移している。また、老人保健は、13.4%から 11.6%とその割合をわずかに低下させている。一方【 C 】は 4.2%から 6.7%と、その構成比を増加させている。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td>1 年金保険……………医療保険……………介護保険</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 年金保険……………介護保険……………医療保険</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 介護保険……………年金保険……………医療保険</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 医療保険……………介護保険……………年金保険</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 医療保険……………年金保険……………介護保険</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	1 年金保険……………医療保険……………介護保険			2 年金保険……………介護保険……………医療保険			3 介護保険……………年金保険……………医療保険			4 医療保険……………介護保険……………年金保険			5 医療保険……………年金保険……………介護保険			1
A	B	C																	
1 年金保険……………医療保険……………介護保険																			
2 年金保険……………介護保険……………医療保険																			
3 介護保険……………年金保険……………医療保険																			
4 医療保険……………介護保険……………年金保険																			
5 医療保険……………年金保険……………介護保険																			
<p>問題 6 市町村が保険者となる国民健康保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 傷病手当金の支給が義務づけられている。</p> <p>2 一部負担金の割合は、年齢や所得にかかわらず 3 割である。</p> <p>3 健康保険とは異なり、出産育児一時金は支給されない。</p> <p>4 保険料の算定は、世帯の負担能力に応じた応能負担方式によって統一されている。</p> <p>5 高額入用費の自己負担限度額は、健康保険と同じである。</p>	5																		

	<p>問題 7 福祉・介護サービスの人材確保に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 「福祉人材確保指針」の見直し(平成 19 年度)では、ライフスタイルに応じた働きやすい労働環境の整備などが盛り込まれた。</p> <p>2 「福祉人材確保指針」に基づき、国は 3 年に一度、介護福祉士の需給見通しを明らかにしなければならない。</p> <p>3 「介護従事者処遇改善法」(平成 20 年)により、都道府県に福祉人材センターが設置されることになった。</p> <p>4 介護報酬改定(平成 21 年度)では、介護従事者確保のための報酬の引き上げは見送られた。</p> <p>5 外国人介護従事者の受け入れのため、介護保険法改正(平成 20 年)で出身国で医療又は介護の資格を取得していれば介護福祉士資格取得者とみなすこととされた。</p> <p>(注)</p> <p>1 「福祉人材確保指針」とは、社会福祉法第 89 条による「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」のことである。</p> <p>2 「介護従事者処遇改善法」とは、「介護従事者等の人材確保のための介護従事者等の処遇改善に関する法律」のことである。</p>	1
	<p>問題 8 平成 19 年の社会福祉士及び介護福祉士法の改正の内容に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 介護福祉士の行なう「介護等」が、「入浴、排泄、食事その他の介護」へと、より具体的に規定された。</p> <p>2 欠格事由の規定が廃止された。</p> <p>3 信用失墜行為の禁止の規定が廃止された。</p> <p>4 新たに資質向上の責務が規定された。</p> <p>5 介護福祉士の資格が業務独占となった。</p>	4
老人福祉論	<p>問題 9 一人暮らし高齢者に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 「国民生活基礎調査(平成 20 年)」によると、65 歳以上の者のいる「単独世帯」の数は、平成 7 年に比べて 4 倍になった。</p> <p>2 「国民生活基礎調査(平成 20 年)」によると、65 歳以上の者のいる世帯構造別の構成割合は、「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」、「3 世代世帯」の順に多い。</p> <p>3 「世帯類型に応じた高齢者の生活実態等に関する意識調査」によると、一人暮らし世帯では、緊急時の連絡先に「となり近所の人」と答える者が最も多い。</p> <p>4 「日本の世帯数の将来推計」によると 2030 年(平成 42 年)には、世帯主が 65 歳以上の世帯のうち単独世帯の割合は、4 割近くまで上昇すると見通される。</p>	4

<p>5 「日本の世帯数の将来推計」によると、2030年(平成42年)には、世帯主が65歳以上の単独世帯における男性の世帯は約440万世帯、女性の世帯は約280万世帯になると見通される。</p> <p>(注)</p> <p>1 「世帯類型に応じた高齢者の生活実態等に関する意識調査」とは、内閣府「世帯類型に応じた高齢者の生活実態等に関する意識調査」(平成17年度)のことである。</p> <p>2 「日本の世帯数の将来推計」とは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2008(平成20年)年3月推計)のことである。</p>	
<p>問題10 老人福祉法に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 平成2年の改正によって、社会的活動への参加が基本的理念に盛り込まれた。</p> <p>2 老人福祉法による福祉の措置は、介護保険制度創設に伴い廃止された。</p> <p>3 養護老人ホームの入所要件は、要介護認定を受けていることである。</p> <p>4 高齢者専用賃貸住宅は、老人福祉法に規定されているものである。</p> <p>5 有料老人ホームは、老人福祉施設の一つである。</p>	1
<p>問題11 介護保険の給付に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 医療保険に加入していない40歳以上65歳未満の者は、給付を受けることができない。</p> <p>2 加入している保険者の管轄区域を住所としていない者は、その保険者から給付を受けることはない。</p> <p>3 保険料を1年以上滞納している者は、給付を受けることができない。</p> <p>4 介護給付は、要介護と認定されるまでは受けることができない。</p> <p>5 予防給付を受けようとする者は、要介護認定を受けなければならない。</p>	1
<p>問題12 介護保険制度における介護福祉士の位置づけに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 訪問介護は、「介護福祉士その他政令で定める者」によって行われる。</p> <p>2 問介護費の特定事業所加算では、介護福祉士の配置が義務とされている。</p> <p>3 介護福祉士の配置を要件とした施設介護サービス費の加算はない。</p> <p>4 小規模多機能型居宅介護は、介護福祉士1人以上の配置が要件である。</p> <p>5 福祉用具専門相談員になるには、介護福祉士も「福祉用具専門相談員指定講習」を受講しなければならない。</p>	1

<p>問題 13 市町村介護保険事業計画に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市町村地域福祉計画と一体のものとして策定する。</li> <li>2 市町村介護保険事業計画には、各年度における介護保険サービスの種類ごとの見込量を定めることとされている。</li> <li>3 都道府県知事は、市町村介護保険事業計画のための参酌標準を定める。</li> <li>4 市町村介護保険事業計画を策定する場合、被保険者の意見を反映させる措置を講じなくてもよい。</li> <li>5 市町村介護保険事業計画は、5年に一度見直す。</li> </ol>	2
<p>問題 14 利用者の居宅で訪問介護サービスを提供している際、利用者の仙骨部に褥瘡を発見した。訪問介護員の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 不十分な介護が原因と思い、「高齢者虐待防止法」により罰せられる旨、家族に説明した。</li> <li>2 褥瘡の治療のために、近くの訪問看護ステーションに訪問を依頼した。</li> <li>3 褥瘡の治療のために入院が必要な旨、家族に説明した。</li> <li>4 介護をしている家族に、介護の様子や家族の心身の状況を聞いた。</li> <li>5 居宅サービス計画の変更のために、サービス担当会議を招集した。</li> </ol> <p>(注)「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援などに関する法律」のことである。</p>	4
<p>問題 15 介護支援専門員に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護サービス計画を立案する国家資格である。</li> <li>2 介護支援専門員になるには、相談業務経験が5年以上あることが必要である。</li> <li>3 資格は更新制であるが、実務経験があり法令違反等がない者は、申請により更新される。</li> <li>4 介護支援専門員でなくなった後は、秘密保持義務は課せられない。</li> <li>5 利用者に特定のサービスを利用させることの対償として、居宅サービス事業者から金品の收受をしてはならない。</li> </ol>	5
<p>問題 16 公的年金制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎年金は、老齢、障害の各基礎年金で構成される。</li> <li>2 老齢基礎年金は、原則として20年の保険料納付期間を満たした人に支給される。</li> <li>3 厚生年金と共済年金は、基礎年金に上乗せして給付する制度である。</li> <li>4 基礎年金の国庫負担の割合は、平成21年度に3分の1に引き上げられた。</li> </ol>	3

	5 国民年金の第3号被保険者とは、被用者年金の被保険者である。	
	問題17 日常生活自立支援事業に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。 1 実施主体は、地域支援包括センターである。 2 専門員は、利用希望者に代わって、事業利用の契約を結ぶことができる。 3 生活支援員は、事業の利用者の支援計画を作成する。 4 生活支援員は、利用者の依頼によって、日常の金銭管理に伴う預貯金の払い戻し等行うことができる。 5 利用料は、市町村が決定する。	4
	問題18 脳梗塞で入院中の75歳のEさんが退院予定となった。退院後の在宅生活支援における介護、医療専門職の連携・協働に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。 1 個々の専門職は、共通の目的と理念をもって支援する。 2 個々の専門職は、専門性をもって支援する。 3 個々の専門職が自由に意見を述べ合える環境をつくる。 4 介護専門職は、Eさんの生活支援情報を各専門職と共有する。 5 医療専門職は、退院後もリーダーシップをとり続ける。	5
障害者福祉論	問題19 次のうち、発達障害支援法が定める発達障害に該当しないものを一つ選びなさい。 1 身体的発達の遅れ 2 アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害 3 学習障害 4 自閉症 5 注意欠陥多動性障害	1
	問題20 障害者の手帳に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。 1 療育手帳は、身体障害者福祉法によって規定されている。 2 身体障害者手帳は、18歳未満のものには交付されない。 3 聴覚障害の身体障害者手帳は、障害等級が1級から5級の5段階に分かれている。 4 精神障害者保健福祉手帳は、知的障害者を対象に含んでいる。 5 精神障害者保健福祉手帳は、障害等級が1級から3級の3段階に分かれている。	5
	問題21 障害者基本法に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。 1 障害者基本法は、「障害者の日」を定めている。 2 市町村障害者計画の策定は、努力義務である。 3 中央障害者施策推進協議会の委員は、厚生労働大臣が任命する。	4

	<p>4 障害基本法は、障害を理由とした差別禁止の理念を明示している。</p> <p>5 政府は、3年ごとに障害者施策の概況の報告書を国会に提出する義務がある。</p>	
	<p>問題 22 障害者の雇用促進等に関する法律についての次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 国、地方公共団体及び特殊法人を除く事業主における法定雇用率は、2.1%である。</p> <p>2 精神障害者を実雇用率に算定できる。</p> <p>3 職場適応援助者(ジョブコーチ)は、平成17年の法改正により創設された。</p> <p>4 国、地方公共団体の法定雇用率は、一般の民間企業より低く定められている。</p> <p>5 発達障害支援法に規定する発達障害者は、職場適応援助者(ジョブコーチ)の対象とならない。</p>	2
リハビリテーション論	<p>問題 23 国際生活機能分類(ICF)に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。</p> <p>1 活動とは、個人による課題や行為の遂行のことである。</p> <p>2 環境因子は、背景因子に含まれる。</p> <p>3 参加とは、生活、人生場面への関わりのことである。</p> <p>4 精神機能は、身体構造に含まれる。</p> <p>5 福祉サービスは、環境因子に含まれる。</p>	4
	<p>問題 24 パーキンソン病の症状に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 主症状は、関節の炎症、疼痛、腫脹である。</p> <p>2 歩き始めに、すくみ足がみられる。</p> <p>3 歩行の特徴は、歩幅を広げて、下腹を大きく外側に回すことである。</p> <p>4 手の運動は円滑である。</p> <p>5 まばたきが多くなる。</p>	2
	<p>問題 25 リハビリテーションの専門職に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 理学療法士は、主に家事動作訓練を行う。</p> <p>2 作業療法士は、主に歩行訓練を行う。</p> <p>3 義肢装具士は、義肢装具の採型、製作、適合を行う。</p> <p>4 言語聴覚士は、生活全般にわたる訓練を行う。</p> <p>5 視能訓練士は、嚙下障害のリハビリテーション評価を行う。</p>	3

	<p>問題 26 片麻痺の人の調理動作に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食器を洗う場合は、リーチャーを用いる。</li> <li>2 肉など包丁で切りにくいものは、キッチンバサミを用いる。</li> <li>3 ワンタッチで開閉できる蛇口を取り付ける。</li> <li>4 食材を包丁で切る場合は、釘つきまな板を用いる。</li> <li>5 立体姿勢が不安定であれば、いすに座って調理する。</li> </ol>	1
<p>社会福祉 援助技術 (演習を含む。)</p>	<p>問題 27 介護福祉士が活用する社会福祉援助技術に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会福祉援助技術を活用するに当たっては、社会福祉士の指導の下で取り組む。</li> <li>2 在宅介護の場面では、間接援助技術を中心に取り組む。</li> <li>3 生活全体の関連から、利用者の問題状況をとらえる視点を重視する。</li> <li>4 援助活動の場が地域に広がり、社会福祉援助技術を活用する機会は減少した。</li> <li>5 介護支援専門員業務を行なう場面では、社会福祉援助技術を必要としない。</li> </ol>	3
	<p>問題 28 個別援助技術の基本概念に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 バートレット(Bartlett,H.)は、「価値」、「知識」、「介入(intervention)」を社会福祉実践に共通する構成要素とした。</li> <li>2 リッチモンド(Richmond,M.)は、Person(人)、Problem(問題)、Place(場所)、Process(過程)の4つをケースワークの構成要素とした。</li> <li>3 バワーズ(Bowers,S.)は、ケースワークを心理社会療法として体系化した。</li> <li>4 ホリス(Hollis, F.)は、診断主義個別援助技術の理論化をすすめ、「ケースワークの理論と実際」(1940年)を著した。</li> <li>5 パールマン(Perlman,H.)は、ケースワークの中心概念を「個別化」、「意識的調整」、「人格の発達」とした。</li> </ol>	1
	<p>問題 29 個別援助技術の原則に基づく対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 居室に行くとEさんが誰にも言わないでね。「実は時々お腹が痛むのだけど、あなたの顔を見ると痛みもなくなるわ」と言ったので、誰にも話さないようにした。</li> <li>2 朝食中、パン食希望のFさんにいつものコーンスープを出すと「今日はみそ汁がよい」と言ったので、「パン食のときは、いつもこのスープでしたよ」と対応した。</li> <li>3 一人暮らしのGさん宅を訪問したとき、Gさんが「死にたい」と言ったので、「そんなこと言わないでください。私も頑張るからGさんも頑張ってください」と答え</li> </ol>	5

<p>た。</p> <p>4 ナースコールでHさんの居室に行くとき「あなたは嫌いだから違う人を呼んで」と言ったので、「なぜですか、私のどこが嫌いなのか教えてください」と尋ねた。</p> <p>5 外出前のJさんに、「どちらのカーディガンがいいですか」と尋ねながら、Jさんに決めてもらうことにした。</p>	
<p>問題 30 集団援助技術の視点に立ったグループ活動の支援過程に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 サブグループの存在は認めるべきではない。</p> <p>2 グループワークでは、メンバーを個別化して支援する。</p> <p>3 メンバー間で傷つけ合うような状況が見られても、メンバーの行動に制限を加えない。</p> <p>4 参加動機が明確でない利用者は、グループのメンバーになることができない。</p> <p>5 グループの活動内容は、援助者が決定すればよい。</p>	2
<p>問題 31 社会福祉援助技術の関連援助技術に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 ネットワークは、保健・医療を除く社会福祉分野のサービスを組織化することをいう。</p> <p>2 ケアマネジメントは、利用者の生活ニーズと適切な社会資源を結ぶことをいう。</p> <p>3 スーパービジョンは、他領域の専門家から助言や示唆を受けることをいう。</p> <p>4 カウンセリングは、非言語的コミュニケーションを必要としない。</p> <p>5 コンサルテーションは、業務について上司から指導、助を受けることをいう。</p>	2
<p>(社会福祉援助技術(演習を含む)・事例問題)</p> <p>クラブ活動に関する次の事例を読んで、問題 32 から問題 34 までについて答えなさい。</p> <p>〔事例〕</p> <p>介護老人福祉施設U苑のK介護福祉士は、手芸クラブに参加するいつものメンバー(女性6名)に声をかけ、去年知事賞を受賞した作品展への出展に向け活動を始めた。</p> <p>欠席するメンバーもなく取り組みは積極的であった。ところが活動半ばころから個々のメンバーに対する不平不満の声が聞こえてきた。丁寧な作業ぶりだがペースの遅いLさんへの批判にK介護福祉士は戸惑い、対応できずにいた。不満は解消されなかったが何とか一緒に作業を続けてきた。</p> <p>出展時期が迫ってきたころ、メンバーの不満の矛先が最も熱心に参加し強引なりーダーシップを取るMさんに向けられてきた。Mさんの威圧的口調は気になったが作品の完成に欠かせない存在なので、この場面でもメンバーの不満に対</p>	

	<p>処できずにいた。</p> <p>出展作品の完成後、クラブ活動は休止したままになっている。</p>	
	<p>問題 32 手芸クラブを準備し活動を開始する段階でK介護福祉士が配慮すべき事項に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 グループ活動の計画、K介護福祉士が中心となって作成する。</p> <p>2 「波長合わせ」では、利用者にどのような活動を提供できるかを施設・機関の責任者に伝えなければならない。</p> <p>3 手芸クラブに参加しているいつものメンバー以外には、参加を呼びかけない。</p> <p>4 昨年も行なったグループ活動であり、今回は施設の承認は得なくてもよい。</p> <p>5 活動の目的は、作品を作り上げることだけでなく、どのようなプロセスで作っていくかにある。</p>	5
	<p>問題 33 手芸クラブ活動中におけるK介護福祉士の介入のあり方に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 各メンバーの感情を共感的に受け止める。</p> <p>2 Lさんと呼んで、他のメンバーの不満を伝え、態度を改めるよう求める。</p> <p>3 出展時期が迫っている段階なので、Mさんの行動は見守る。</p> <p>4 Mさん以外にリーダー役が作れない場合、手芸クラブを中止する。</p> <p>5 活動が継続中なので、介入は行わない。</p>	1
	<p>問題 34 手芸クラブ活動の休止中に、K介護福祉士が配慮すべき事項に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 休止中なので、活動を評価する必要はない。</p> <p>2 活動の再開に向け今後の方針について、Mさんの意見を尊重する。</p> <p>3 今後の活動について、メンバーが話し合える場を用意する。</p> <p>4 活動が終了したと判断し、グループを解散させる。</p> <p>5 今後のグループ活動については、生活相談員(社会福祉士)に引き継ぐ。</p>	3
レクリエーション活動援助法	<p>問題 35 国際生活機能分類(ICF)の考え方に基づいたレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 現在行なっているレクリエーション活動を重視すればよい。</p> <p>2 「参加」は、地域行事への参加を促すことで達成できる。</p> <p>3 レクリエーション活動を増やすためには、環境因子を整えればよい。</p> <p>4 レクリエーション活動援助の目的は、身体能力の向上を目指すことである。</p> <p>5 レクリエーション活動のニーズは、本人の生活歴や現在の生活状況から把握する。</p>	5

<p>問題 36 レクリエーション活動援助のプロセスに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 援助プロセスは、事前評価、計画策定、実施、評価で構成される。</li> <li>2 事前評価では、日常生活全般に対する欲求を探索する。</li> <li>3 事前評価では、基礎生活、社会生活、余暇生活についてアセスメントを行う。</li> <li>4 計画策定では、援助者の方針を優先させる。</li> <li>5 実施では、計画に沿って援助者は利用者と直接的又は間接的にかかわる。</li> </ol>	4
<p>問題 37 次のうち、レクリエーション活動援助を総合的に評価するに当たり最も重視すべきものとして、適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 援助者の実施満足度</li> <li>2 時間的・経済的効率性</li> <li>3 家族の満足度</li> <li>4 利用者の QOL</li> <li>5 利用者の ADL</li> </ol>	4
<p>(レクリエーション活動援助法・事例問題)</p> <p>次の事例を読んで、問題 38 から問題 40 までについて答えなさい。</p> <p>[事 例]</p> <p>N さん(72 歳, 女性, 要介護 3)は, 29 歳で結婚, 30 歳で息子を出産直後に, 夫を交通事故で亡くした。その後, 市営住宅に移り息子と二人暮らしをしながら, 工場で部品製造のパートで生計を立てた。そのころの楽しみは, ベランダでわずかな野菜を育てることと, 歌謡曲を口ずさむことだった。網膜色素変性症のため, 50 歳ごろから次第に視力低下が進み, 60 歳で全盲になり, 仕事を辞めた。3 年前, 食欲不振, 脱水の症状で体調を崩し, その後ぼんやりすることが多くなり, 火の後始末や身の回りのことができなくなってきた。息子の縁談もまとまったが, 「迷惑はかけられない」と 1 年前, 養護盲老人ホームに入所。その後次第に息子の名前も分からなくなってきた。息子の訪問も疎遠になり, N さんは家に帰りたいがっている。最近夜間, 一人でぶつぶつ言いながら, つたい歩きをするようになった。</p>	
<p>問題 38 次のうち, N さんの状況から考えられるものとして, 最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染症</li> <li>2 認知症</li> <li>3 糖尿病</li> <li>4 パーキンソン病</li> <li>5 胃潰瘍</li> </ol>	2

老人・障害者の心理	<p>問題 39 レクリエーション活動援助におけるNさんへの働きかけに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 庭に出て季節の野菜に触れるように勧める。</p> <p>2 ジグソーパズルを勧める。</p> <p>3 部品の組み立てを勧める。</p> <p>4 クラシック音楽の鑑賞を勧める。</p> <p>5 息子の婚約者に会いに行くことを勧める。</p>	1
	<p>問題 40 生活意欲の向上へ向けたNさんへの声かけに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。</p> <p>1 「買い物に行ってみませんか」</p> <p>2 「息子さんを誕生会に招待してみませんか」</p> <p>3 「カラオケで歌ってみませんか」</p> <p>4 「散歩に出かけてみませんか」</p> <p>5 「車いすに乗ってみませんか」</p>	5
	<p>問題 41 発達理論に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 エリクソン(Erikson,E.)は、「発達段階説」を唱えた。</p> <p>2 ワトソン(Watson,J.)は、「成熟優位説」を唱えた。</p> <p>3 シュテルン(Stern,W.)は、「学習優位説」を唱えた。</p> <p>4 ピアジェ(Piaget,J.)は、「輻輳説」を唱えた。</p> <p>5 ゲセル(Gesell,A.)は、「相互作用説」を唱えた。</p>	1
	<p>問題 42 老化が及ぼす心理的影響に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 老年期には、自我同一性の確立が顕著に現れる。</p> <p>2 喪失体験を引き起こす原因の一つに定年退職がある。</p> <p>3 経験や体験に基づく流動性知能が高まる。</p> <p>4 感覚記憶から送られた情報は、半永久的に保持される。</p> <p>5 老いを自覚することにより、他者への積極的な交流が増える。</p>	2
	<p>問題 43 高齢期のうつとその対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 身体症状とうつ病は関連性が少ない。</p> <p>2 自殺につながる危険性は少ない。</p> <p>3 意欲を高めるように周囲が励ます。</p> <p>4 病状の回復後、仕事や家事への早期復帰を促す。</p> <p>5 疲れたら休息を促し様子を見る。</p>	5

<p>問題 44 施設における認知症高齢者の心理的安定を図るための対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 慣れ親しんだものより新しい便利なものを活用する。</li> <li>2 居室の変更を頻繁に行う。</li> <li>3 食事では雰囲気作りより栄養摂取を優先する。</li> <li>4 照明はできるだけ明るくする。</li> <li>5 部屋の表示や目印を活用する。</li> </ol>	5
<p>問題 45 事故等で手足を失った人の心理に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幻肢を感じる人の割合は、手足を失った人の 50%以下である。</li> <li>2 幻肢は痛みを伴わない。</li> <li>3 手足を失った事実の否認は、治療の受け入れを困難にする。</li> <li>4 幻肢は手や足が失われた直後に現れ、数週間で消失する。</li> <li>5 ないはずの手足の存在を訴えるのは、同情を引くためである。</li> </ol>	3
<p>問題 46 アルコール依存症に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 離脱症状は短時間で消失するので、生活に支障を生じない。</li> <li>2 家族などの周囲が飲酒量の多さを指摘すれば、依存を認める。</li> <li>3 依存に気が付けば、自分で飲酒量をコントロールできる。</li> <li>4 セルフヘルプグループへの参加は、回復への支えとなる。</li> <li>5 依存している場合でも、飲酒時の記憶は保持されている。</li> </ol>	4
<p>問題 47 心理検査に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 YG 性格検査は、未完成の文章を完成させる検査である。</li> <li>2 コース立方体組み合わせテストは、提示された図形を模写する検査である。</li> <li>3 パウムテストは、実のある木の絵を描画する検査である。</li> <li>4 改訂長谷川式簡易知能評価スケールは、描画課題を含む検査である。</li> <li>5 PF スタディは、インクのしみを見せて反応を見る検査である。</li> </ol>	3
<p>問題 48 箱庭療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 知能検査として使われることが多い。</li> <li>2 作業の途中で助言しながら進めていく。</li> <li>3 対象は子供である。</li> <li>4 箱庭を作ることで退行が起きる。</li> <li>5 箱庭を作ることがストレスや不安につながる。</li> </ol>	4

家政学概論	<p>問題 49 家庭生活に関連する法制度についての次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 「児童虐待防止法」では、保護者以外の同居人による虐待は児童虐待には該当しないと規定している。</p> <p>2 「DV 防止法」では、夫婦間の暴力に対しては他者が介入できないとしている。</p> <p>3 民法では、直系血族及び兄弟姉妹は、互いに扶養をする義務があるとしている。</p> <p>4 「高齢者虐待防止法」では、高齢者の財産を不当に処分しても高齢者虐待には該当しないと規定している。</p> <p>5 成年後見制度では、民法における相続人の中から後見人を選択することとしている。</p> <p>(注)</p> <p>1 「児童虐待防止法」とは、「児童虐待の防止等に関する法律」のことである。</p> <p>2 「DV 防止法」とは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」のことである。</p> <p>3 「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養後者に対する支援等に関する法律」のことである。</p>	3
	<p>問題 50 牛乳に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 牛乳のカルシウムと小魚のカルシウムの吸収率は、ほぼ等しい。</p> <p>2 牛乳は殺菌後 20℃以下で保存することが定められている。</p> <p>3 牛乳に用いた加工食品は、牛乳が含まれていることの表示が義務づけられている。</p> <p>4 加熱した牛乳表面に生じる皮膜は、乳糖の変性によるものである。</p> <p>5 ロングライフ(LL)牛乳は、開封後も室温で保存できる。</p>	3
	<p>問題 51 油脂の劣化に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 豚脂・牛脂は、魚油よりも劣化しやすい。</p> <p>2 直射日光下で劣化が促進される。</p> <p>3 劣化は加熱温度に影響されない。</p> <p>4 油脂の劣化が原因で食中毒が発生することはない。</p> <p>5 油脂は劣化すると粘度が低くなる。</p>	2
	<p>問題 52 「日本食品標準成分表」による調味料 100g当たりの食塩相当量に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。</p> <p>1 穀物酢は 3.0g である。</p> <p>2 みりん風調味料は 2.0g である。</p> <p>3 淡色辛みそは 6.0g である。</p> <p>4 こいくちしょうゆは 8.0g である。</p>	5

5 うすくちしょうゆは 16.0g である。	
<p>問題 53 次の食品の内、嚥下障害のある高齢者にとって最も注意が必要なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 豆腐のあんかけ</p> <p>2 煮ごり</p> <p>3 バナナペースト</p> <p>4 カステラ</p> <p>5 アイスクリーム</p>	4
<p>問題 54 洗濯とアイロンがけに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 綿の洗濯は、中性洗剤が適している。</p> <p>2 レーヨンの洗濯は、酸性洗剤が適している。</p> <p>3 ポリエステルの洗濯は、短時間での脱水が適している。</p> <p>4 麻のアイロンがけは、低温が適している。</p> <p>5 絹のアイロンがけは、高温が適している。</p>	3
<p>問題 55 片麻痺のある在宅高齢者の転倒予防に配慮した住環境に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 夜間の移動に配慮して、足元に光源を設ける。</p> <p>2 立ち上がりのために、床と水平な手すりを設ける。</p> <p>3 麻痺のある側に広く空間を取るように、ベッドを配置する。</p> <p>4 床からベッドのマットレス上部までの高さを、60cm程度にする。</p> <p>5 敷居の段差を、じゅうたんで覆って解消する。</p>	1
<p>問題 56 高齢者や障害者の住環境に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。</p> <p>1 シルバーハウジングの生活援助員は、日常的な身体介護を主たる業務とする。</p> <p>2 ユニット型特別養護老人ホームは、簡易な流し・調理設備を設けた共同生活室をユニット単位で整備することが望ましい。</p> <p>3 介護保険制度による住宅改修費は、9割相当額が前払いで支給される。</p> <p>4 「誰にとっても使いやすい」ユニバーサルデザインの考え方は、「障壁を除去する」バリアフリーの考え方より先に普及した。</p> <p>5 特別寝台は、介護保険における福祉用具購入費の支給の対象となる。</p>	2